

火遊びによる火災の防止

～入学園児・生徒に防災教育を！～

『子どもの火遊びを防ぐには』

好奇心旺盛な子どもたちにとって、火遊びはおもしろい遊びの一つです。親や周囲の大人が注意を払うとともに、日頃から子どもたちに火の怖さを具体的に教えるのは勿論、時には子どもの視線になって火遊びの元になるものがないか点検するなど、大人の責任で火の元を管理しましょう。



火遊びを防ぐポイント

1 マッチやライターなどは、子どもの手の届くところに置かない！

子どもの火遊びを防ぐ最良の方法は、簡単な操作で着火するマッチやライターなどを子どもの手の届かない場所へ置くことです。

2 子どもだけでは火を取り扱わせない！

子どもは、たとえ火の取扱いができて火の持つ危険性を十分に理解することはできず、火の適切な取扱いは期待できません。花火やたき火をする時には、必ず大人が立ち会いましょう。

3 子どもだけを残して外出することを避ける！

子ども（特に幼児）だけを残して外出することは避けましょう。やむを得ず子どもだけを残して外出する時には、ガスコンロは元栓を閉めるなど、火気使用器具を簡単に火が点かないようにするのはもちろんのこと、外出時間もできるだけ短くしましょう。

4 子どもが火遊びをしているのを見かけたら、注意してやめさせる！

子どもは、火遊びにスリルと興奮を感じるもので、エスカレートしていくとその頻度も増え、行動も危険なものとなります。このような危険性を早期に防ぐためにも、子どもの火遊びを見つけたら、その場で注意しやめさせましょう。

5 子どもに火の恐ろしさ、正しい火の取扱いについて教える！

子どもが火に対して興味を示すのは自然なことです。火に関心を持つようになったら、火の恐ろしさを十分理解させるとともに、その正しい取扱い方法について教えていきましょう。

※注意：空き家を所有されている方や管理されている方は、子どもたちの遊び場にならないように注意してください。



消防庁長官表彰に輝く

平成18年度消防庁長官表彰式が3月2日にニッショウホール（東京都港区虎ノ門）において行われ、防火思想の普及、消防施設の整備、災害の防ぎよに関し優秀と認められ消防庁長官より常陸大宮市消防本部・消防団に表彰旗が授与されました。

なお、消防行政功労により次の方々が表彰されました。

功 勞 章

小田倉和男さん

永年勤続功労章

長山登志治さん

相澤 利光さん



地域の命は私たちが守る！



美和地域の窪郷女性防火クラブ（河野政代会長）は、3月10日にクラブ員を対象として、災害による負傷者の救命率向上を目的に普通救命講習を実施しました。

講習会では、一人でも多くの市民の命を救う技術を身につける講習とあって、消防職員の指導のもと3時間のカリキュラムを熱心に受講しました。